



共 済 と 保 險

四〇年二月号目次

◇話題と人・白川国三郎氏・中村元量氏

◇口絵写真・白い樹海

◇グラフ・農協共済資金の内訳

巻頭言・利潤と社会的責任

交 又 点

互朗会と私のご臨終……………三 上 玉 城
 幸福の追求……………前 田 関 男

座 談 会

漁船保険制度の沿革と現況

出 席 者
 矢野 静男 (水産庁漁政部 漁船保険課長) 保坂 茂 (日本トロール捕鯨 漁船保険組合参事)
 山本 豊 (漁船保険中央会副会長) 本会側
 浅野 長光 (日本トロール捕鯨 漁船保険組合専務理事) 坂井 幸二郎

(質疑 応答)

外務職員への「職場の付与」

漁船保険の需要予測③

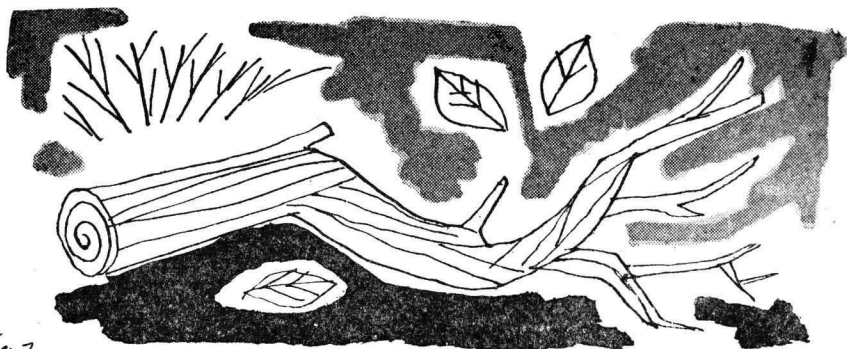
浅野 長光 (三八)

(三七)

(一八)

(一一)

(一〇)



122

座談会

三業界民・簡保の現況とビジョン

〔札幌生保協会〕

矢敷 弓三 (理事長)

川原 俊一 (副理事長)

村川 正太 (常務理事)

〔札幌郵政局〕

菊井 富次 (保険部長)

長谷川三雄 (運用課長)

野崎 省吾 (外務課長)

〔北海道共済農協連〕

安田 慎三 (参事)

阿部 進 (企画管理室長)

皆川 忠男 (普及部長)

司会 今井 龍三 (本会北海道支部部長)

(四二)

展望

共済・相互扶助の共済会が発足・四〇年度さげ、ます漁獲共済取扱の方針

きまる・二六日から地域別共済組合事務連絡会議・漁業共済加入促進が急務・全共連の一月普及推進実績まとまる・鹿児島共連の福祉施設「大霧荘」近く完成・群馬共連保有四五〇億へ・共済連と厚生連がタイアップして農夫症退治へ・農業白書国会に提出される

生保・総代会問題審議核心へ・健保委商品化の研究再会へ・大蔵省全社に保険金支払について指示・重要産業融資十一月で三、七三三億・契約者配当問題据置の方向へ・生協苦情処理の公正化期す・外野の表彰規定案一部修正へ

損保・新潟地震に算定会の見解示す・六社会で住総改訂の方向出す・大坂ドブ池火災のアットリスク十四億越す・大蔵省本格的審議に着手・総資金十一月末で四、〇六三億に・保険契約は四千五百万円

(六九)

図書室・中期経済計画の解説

保 險 統 計 (生保資産、損保資産、簡保年金資金、生保契約成績、損保元受成績、簡保契約成績)

編 集 後 記

(七八)

(八〇)

(七六)